

なかがわ

広報

2013. 2



No.89

- ご成人おめでとう 2
- 二十歳のメッセージ 4
- 健康保険税の税率を改正します 7
- マイバックキャンペーン結果 12
- 統計調査員の登録者を募集しています 16



なかちゃん

成人おめでとう!

広報 Koho Gallery
展示室

第89回

企画展

源氏絵の世界 — 倭紫田舎源氏 —
にせむらさき い なかげん じ

海老をのつけたような鬘を結び上げて片肘をつくい男。これは柳亭種彦の小説『倭紫田舎源氏』の主人公、足利光氏です。花飾りをたくさんつけたかわいらしい女の子に絵を見せて、「これは僕が明石で辛い思いをしていたときに描いた絵なんですよ」と説明しているところです。なんか聞いたことのあるような話ですが、これは、『源氏物語』の「絵合」をもとにした場面です。『倭紫田舎源氏』の設定は室町時代で、挿絵は江戸風俗で描かれていますが、筋は『源氏物語』に沿っているので同じような場面がたくさんあるのです。

光氏のちょっと変わった髪型は「海老茶筌鬘」というものですが、光氏の髪型や着物、道具類は大名から一般庶民にいたるまで広く流行しました。今ではほとんど知る人もいない光氏ですが、当時は大変な人気者だったのです。『倭紫田舎源氏』をベースにした歌舞伎も上演され、八代目市川團十郎が光氏を演じて大当たりをとったと伝わっています。

ところで、この芝居に刺激を受け、光氏の恰好をして豪遊した男がいました。浅草福富町の富豪で池田屋市兵衛という人です。市兵衛は海老茶筌鬘を結び、白無垢を着て刀を差し、『倭紫田舎源氏』の登場人物の衣裳を着た28人のお供を連れて向島を遊び回りました。そのはなやかな様子はお祭の行列のようだったといえます。

しかし、それを聞きつけた北町奉行所に召し捉えられて御白州でお裁き。中心人物は手鎖やお預けの処分となりました。その後、池田屋市兵衛は若くして隠居したそうです。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井裕子



三代目歌川豊国 「今源氏錦絵合 絵合 十七」

【会 期】 3月3日(日)まで

【休 館 日】 2月12日(火)、18日(月)、25日(月)

【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
(但し入館は4時30分まで)

【入 館 料】 大 人 500円(450円)
高・大学生 300円(270円)

※()は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

無料不動産相談の
お知らせ

日時 3月12日(火)
午後1時30分
～午後3時30分

会場 那須烏山市役所
(烏山庁舎) 市民相談室

内容 土地・建物に関する相談

問い合わせ (社) 栃木県宅地
建物取引業協会県北支部

☎ 0287-62-6677

ミニギャラリー



故 大野貢氏(北向田出身)により制作されたガラス工芸品「日光東照宮」
(町郷土資料館に常設展示されています ☎0289-92-1103)